

参加申込書

(※ 講座の性質上、連続受講を原則としています。)

F A X 送信先：099-285-7600

e-Mail：ls_support@leh.kagoshima-u.ac.jp

(e-Mail の場合、下記の内容をお知らせ下さい。)

氏 名： _____

所 属： _____

車での来場希望： あ り ・ な し

連絡先： TEL _____

FAX _____

E-Mail _____ @ _____

(資料提供や車での入構のご案内のため、少なくとも TEL/FAX/e-Mail のいずれかをご記入して下さい。)

【開催形態・内容】

講師による講義は、基本的に英語で行われる予定です。逐語訳は行われませんが、適宜、講師あるいはコメンテーターから日本語による要約があります。また、コメンテーターからは適宜、日本法あるいは日本の法実務との比較のコメントを行います。さらに、中央大学教授等による各専門分野からのコメント（日本語）を行います。

6/18 (土)	Introduction to English legal writing and drafting (1)	1 限目は、イギリスのソリシター資格を有し、イギリスのソリシター養成学校や中央大学大学院法学研究科にて講師経験や外国弁護士としての実務経験のある Tami McGonigal 氏が、国際ビジネスに携わる法曹に要請されるマインドや技能の重要性や国際取引においてコモンローを学ぶことの意義を講義します。2 限目に、英文契約条項やビジネスメールなどを起案する際に注意すべきいくつかの点について具体的例を使いながら講義を行います。3 限目は、日本人が英文書類作成について、英文契約条項を例に取り、間違いやすいポイントとその対策を集中的に学び、エクソサイズを行います。これは 6/25 に解説する予定です。	講師： Tami McGonigal	コメント： 山田八千子
6/25 (土)	Introduction to English legal writing and drafting (2)	1 限目には、Tami McGonigal 氏が、6/18 の第 1 回目に実施したエクソサイズの解説を行います。2 限目と 3 限目は、オーストラリアの弁護士資格を有し、西村あさひ法律事務所にて外国弁護士として活躍する Peter Howitt 氏が、日本人の英文作成において、重要ではあるが、間違いやすい論点について、具体的な英文契約条項やビジネスメールの例を用いて講義を行います。グループ内でのディスカッションも予定しています。	講師： Tami McGonigal, Peter Howitt	コメント： 椎名智彦

【参 考】

2016 年夏期セミナー②ウェブサイト：

http://www.chuo-u.ac.jp/academics/pro_graduateschool/law/recurrent_program/short_term_seminar/international2016_02/